



赤島の下で、乗っ込みチヌを釣り上げた高山さんと、走り?のイサキは下田さん!!



足元に60超のイシダイが居るかも!?

ハナレには船に備え付けのハシゴを降ろして渡ります



当日は、潮はゆるめ、底層からアラカンもお目見え!!

この時は仕掛けは入れない方がいいです(マキエサのみ)。潮がゆっくり動き始めたらずめて、足元と潮すじにと、規則的に打ち始めます。ここから仕掛け投入です。生命反応はなく時間だけが過ぎますが、潮はゆっくりですが確実に上げ潮が入って来ます。船長が水温は、「13度やっど!」と言っていたのが、わかつてきました。ツケエサは、そのまま。冷たいです。まず、ガン玉を2Bから3Bに上げて、ジタン2号を下に移動させ、張り気味でゆっくり沈み込ませる作戦で、中層よりも下の層を意識して流すようにします(13度の水温層の下を釣るイメージ)。すると、朝9時オナガの子、約30cm。メチャ嬉しい。いつもなら即リリースするのですが、今日だけは、キープしときます。このきびしい水温で、よく来てくれました。しかし、その後は続かず、また沈黙が…。次は、ハリを5号から6号に上げて、さらに少しだけ底付近に確実にという思いで、ハリを大きくしてみます。ダメな時は逆に小さく



旬なオナガの感触がたまりません!!

★長島海峡一帯を案内して下さる『しらなみ様(嶋内船長)』090-4776-5797



〈おまけ〉

マダイは、流れや本流が関わる場所なら釣りやすいと思います。イサキは、ほぼ毎日エサが入る所なら、近くに寄っていると思っ

オナガは、クロが釣れる所なら可能性はあります。船長に要相談。チヌは、湾内とか砂地・堤防等の方が、確実に居ます。荒磯は、数は少ないです。

長島海峡の玄関口にある戸島～天草牛深一帯を望む。長島～牛深を結ぶ三和フェリーからも戸島や一帯の釣り場がよく見えますよ～!!

健康に大変良いという長命草が生えています

長島名物のアオサナリも美味しい素晴らしい海です!!

「赤島の上」はイシダイの70クラスも上がってマス!!



イラがとてもアマビエちゃんに似てました!!



仕掛けが流れに乗ったら、スプールに中指を当てて、テンションの強弱を聞きながら流して行きます。



※仕掛け投入後は、小指をスプールに当てライン放出を制御しながら後打ちマキエに仕掛けを追わせ

シケに強い長島の本流釣りを楽しもう!!

船長が水温は、「13度やっど!」と言っていたのが、わかつてきました。ツケエサは、そのまま。冷たいです。まず、ガン玉を2Bから3Bに上げて、ジタン2号を下に移動させ、張り気味でゆっくり沈み込ませる作戦で、中層よりも下の層を意識して流すようにします(13度の水温層の下を釣るイメージ)。すると、朝9時オナガの子、約30cm。メチャ嬉しい。いつもなら即リリースするのですが、今日だけは、キープしときます。このきびしい水温で、よく来てくれました。しかし、その後は続かず、また沈黙が…。次は、ハリを5号から6号に上げて、さらに少しだけ底付近に確実にという思いで、ハリを大きくしてみます。ダメな時は逆に小さく

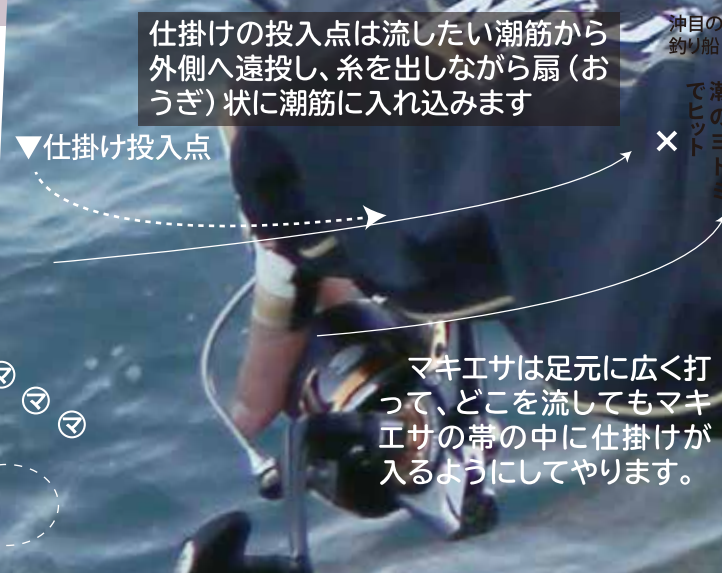


すればいいので…。とりあえず思ったらやってみます。さらにマキエサも足元に広く打って、どこを流してもマキエサの帯

の中に仕掛けが入るようにしてやります。すると、「時間後いきなり竿引きの当たり。確実にアワセてからやり取りスタート。数少ない

アタリなので慎重に、でも糸は出さずに。上がつて来たのは、きれいな茶グレ。オナガグロの居付きタイプです。サイズは別として嬉しい二匹。その後は、マダイでもと思いいろろやつてみましたが、良型のイラで今日は終了です。風も強くなってきたので午後時、はやめの納竿としました。安全第一です。

〈最後に〉



仕掛けの投入点は流したい潮筋から外側へ遠投し、糸を出しながら扇(おうぎ)状に潮筋に入れ込みます

マキエサは足元に広く打って、どこを流してもマキエサの帯の中に仕掛けが入るようにしてやります。



一魚一会!! 長島オナガグロに会えて嬉しい!!



イズミさん

スズメダイ

にぎり方は頭と下腹をしっかりとつかむ!!

